

# 委員報告会

## 予算決算審査 特別委員会

令和4年12月14日に委員会を開催し、付託された一般会計、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計の補正予算4議案について、関係部課長から細部にわたる内容の説明を求め、慎重に審査した結果、本委員会としては、全議案を原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

## 原子力対策 特別委員会

令和4年12月15日に委員会を開催し、資源エネルギー庁原子力立地政策室の前田博貴室長による「GX実行会議を踏まえた今後の原子力政策の方向性について」と題しての報告および中部電力(株)から浜岡原子力発電所の近況報告を受けました。

〔GX実行会議における検討内容について〕

- ・エネルギーの安定供給の再構築
- ・脱炭素に向けた経済・社会・産業構造変革
- ・最近の電力需要を巡る環境変化以上を踏まえた原子力政策の今後の進め方
- ① 既存原発の最大利用
- ② 次世代革新炉の開発・建設
- ③ バックエンド問題に関する取り組み

以上について報告を受けました。

〔浜岡原子力発電所の状況について〕

1. 浜岡原子力発電所の状況
2. 発電所の長期停止により生じている技術力の維持・継承の課題、その課題に対する取り組み

以上について報告を受けました。

GXとは…

「グリーン・トランスフォーメーション」の略で、次世代エネルギーへの転換によって持続可能な社会を実現させる取り組みのこと。

## 総合開発計画策定 特別委員会

令和4年12月15日に特別委員会を開催し、令和5年度～令和7年度の財政見込、第2次総合計画の令和5年度～令和7年度の実施計画案及び同総合計画における危機管理部のコロナ禍及び年度途中の事業評価の説明を受けました。内容は次の通りです。

・財政見込について

歳入の市税については、新型コロナウイルス感染症からの脱却によるプラス要因があるものの、納税義務者の減少や、円安などの影響を考慮し、市民税は横ばい、固定資産税は、大規模施設の建築と稼働が見込まれる令和6年度をピークに減少する見込みとしました。歳出については、地方債残高が増加することに伴い、返済金である公債費も増加、令和10年度までの公債費は、10億円を超える見込みとなっています。物件費は、電気料金などの高騰があるものの、施設の統廃合など、公共施設マネジメントの推進による維持管理経費の削減を図り減少、補助費等も他会計などへの補助金を削減するこ

とで、減少を見込みました。投資的経費は、コロナ禍で落ち込んだ市内経済をいち早く回復させるため、建設事業を含め、市内経済の活性化に投資する形で見込んでいます。

・実施計画案について

この実施計画は、第2次総合計画に掲げた目標を達成するための具体的な事業と、それに係る3カ年分の事業費を年度ごとに取りまとめたものです。なお、本計画は、社会情勢の変化や市の財政状況を考慮して、毎年予算編成と並行する形で見直しを行っています。

・コロナ禍及び年度途中の事業評価について

新型コロナウイルス感染症が本計画の各事業にどのような影響を与えているか確認しました。第2回目となる今回は、危機管理部危機管理課から説明を受けました。

